



みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第12弾として、河川分野の業務内容を、東北地方整備局福島河川国道事務所川面調査第一課長（入省7年目）より語っていただきました！



川面課長（入省7年目）

1. 河川分野の業務の国交省における役割を教えてください。

わが国には全国109水系の国直轄管理の河川をはじめとして、都道府県管理河川などを含めると多くの河川が存在し、人々の生活と密接に関係しています。それら河川について、防災減災および平常時の利活用等を推進させるべく日夜業務に励んでいます。最近では雨の降り方が昔とは変わってきており、防災減災をより一層強く進めているところです。

昨年10月には、「令和元年東日本台風（台風第19号）」により、日本各地で大きな被害が生じました。私が所属している福島河川国道事務所が管理する阿武隈川においても越水等が発生し、まちが浸水してしまいました。この災害の復旧を迅速に進めると共に、気候変動により豪雨被害が頻発する昨今、あらゆる可能性を想定し、対策を講じていきます。



東日本台風による被災状況（阿武隈川）



2. 現在の目玉施策を教えてください。

東日本台風の復旧・復興に向けて「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を国・県・市町村の連携で打ち出しました。堤防整備等のハード整備・川の様子を見るカメラの設置等のソフト整備を連携させ、災害に強い阿武隈川を作っています。

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

やはり昨年の台風における被害が大きかったですので、その復旧・復興に関わる市町村との連携ですとか、今後災害に強い川・地元に愛される川にするための計画・設計等を行っています。

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

昨年までは本省係長として、霞ヶ関で政策立案に携わっていました。自分が国を動かしているという強い思いの一方で、業務が本当に地元の役に立っているのか、モチベーションを保つことが難しい時もありました。しかし、今年現場に異動となったことで、自分がやっていたことが地元還元されていることを実感できています。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

私は現在河川の業務をしていますが、これまで道路や防災にも携わっていました。また、私は今福島という現場で川と直接向き合っていますが、昨年までは霞ヶ関で政策立案に携わっていました。このように、国土交通省の業務は多岐に渡る上、現場の工事も、制度づくりも行うことができます。色々なことがやりたい好奇心旺盛な人、逆にまだやりたいことが定められていない人にオススメです！



「こども霞ヶ関見学デー」の見学対応（関東東北豪雨をVRで疑似体験中）